

環境目標： 生徒の主体的な活動による環境整備

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・授業にて、エネルギー問題の解決方法について調べた事項をまとめ、発表した。
・通年を通してポスター等により「節電」の啓蒙活動を行い、限りあるエネルギー資源を大切に使うことの意識を向上させた。
・校舎に緑のカーテンを設置し、日陰をつくることで、校舎への暑熱を抑制し、冷房による消費電力を減らす活動をした。

<資源循環>

活動内容
・アルミ缶回収や古紙回収を行うとともに、日常でのゴミの分別活動に取り組んだ。
・給食時に牛乳のストローレスを呼びかけ、プラスチック使用の削減に取り組んだ。
・給食の食べ残しの削減に取り組んだ。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・学校ファームを運営し、生徒が自ら育てた作物を収穫することで「食育」「地産地消」の原理を学び、収穫の楽しさと喜びを味わった。
・生徒と保護者で花壇の整備をし、季節に合った花を植えることで学校を彩った。
・理科や総合的な学習の時間を中心に、生物多様性についての授業を実施した。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】 緑のカーテンプロジェクト

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

校舎の複数箇所に緑のカーテンを設置して日陰をつくることで、校舎への暑熱を抑制し、冷房による消費電力を軽減する取組をした。生徒の自主的な活動につながるよう、計画から運営まで、実施方法を工夫した。

【活動内容】

緑のカーテンをなるべく背丈を高く育てるためにはどうすればよいかを生徒が検討し、そのための土壌づくりや苗植え、水やりを行った。育てる植物も検討し、ヘチマやゴーヤ、琉球アサガオを育てた。ゴーヤについては実を収穫し、食育の視点でも生徒の学びにつなげた。

今後は、緑のカーテンプロジェクトの実行委員会を組織し、育てた植物から種を取って次年度に向けまた新たな苗を育てることや、夏休み等の長期休業中もその日に活動している部活動に水やり当番を依頼したり、緑のカーテンにより実際に部屋がどの程度涼しくなったのかを温度計で測定したりしながら、その有用性とやりがい・意欲を高め、さらなる改良を生徒が主体となって検討していけるような活動につなげていければと考えている。

